

第三次国立市子ども総合計画重点取組みの実施評価

重点的取組み名	所管課	総合評価
幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」	保育幼児教育推進課	A

	取組み内容	評価
1.	ひろば「ここすき！」の運営	A
2.	関係機関合同研修・合同研究	A
3.	乳幼児教育に係る啓発・推進	B

令和6年度までの実績または取組の現状

幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」については、平成30年度より、国立市内の幼児教育環境の向上を目指し、近年、幼児教育にとって重視されている“非認知スキル”の視点を、保育園・幼稚園の幼児教育の実践や未就園児童の家庭内保育に生かせる環境づくりを進めることを目的に実施している。

令和2年度より、「くにたち子どもの夢・未来事業団」と市が両輪となり、事業を実施している。

1. ひろば「ここすき！」の運営

(1) 目的

ひとりひとりの個性を大切にしながら、子どもが自ら育とうとする力を保護者と共有し応援していく。また、保護者は子育てを一人で抱え込むことなく、互いに子どもを見合い育ち合う関係、仲間づくりを目的に実施している。

(2) 事業内容

子どものひとりひとりが自分の力を発揮しながら遊べるように、興味や発達に合わせたコーナー設定を行う。また、栄養士の話や、幼児教育センター長の話等を聞く等、子どもへの理解を深められるような機会を提供する。令和5年度については、1歳児クラス相当の子どもと保護者を対象に、前期3グループ、後期3グループで合計61組の親子を対象に事業を実施した。

また、新たに2歳児クラス相当の子どもを対象とした通所事業「ここすき！プラス」を新たに実施した。この事業では、コーナー設定を行い、遊び込める環境づくりを行うとともに、水遊びなど季節を感じられる遊びや、商店街に散歩へ行くなど、戸外活動を取り入れ、地域と繋がるきっかけ作りや、保護者同士ゆっくり話し合えるような環境を設定した。全31回実施し、255組の親子が参加した。

2. 関係機関合同研修・合同研究

(1) 目的

市内幼稚園・保育園・認定こども園を対象に研修を実施し、幼稚園教諭や保育士のさらなるスキルアップを図ることで市内全体での保育・幼児教育環境の向上を図る。

(2)事業内容(令和5年度)

保育士キャリアアップ研修(乳児保育):修了者22名、保育士キャリアアップ研修(幼児教育):修了者19名、保育士キャリアアップ研修(障害児保育):修了者30名、保育士キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援):修了者:13名、保育の質向上のための研修:受講者29名、職場環境向上研修:受講者54名、安全管理研修:受講者:52名

令和5年度は、幼児教育センターによる市内就学前教育施設巡回訪問を実施し、市内就学前教育施設7園を訪問し、各施設の課題や困りごとに対し、助言や検討を行うとともに、研修に対する要望を把握し、ニーズに沿った研修の実施に繋げていく機会とした。

3. 乳幼児教育に係る啓発・推進

(1)目的

幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」での取組内容を積極的に発信することで、幼稚園・保育園・認定こども園における実践や乳幼児の家庭内での保育に活かせる環境づくりを推進する。

(2)事業内容

幼児教育講演会の開催、幼児教育推進パンフレットの発行、「ここすきコラム」の掲載、幼稚園訪問インタビューの実施、事業団ホームページやX(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNSを活用した情報発信

課題及び改善点

子育てひろば「ここすき！」については、参加者が毎回10組程度と限定されてしまうため、参加しやすい事業へと変更してほしいとの声がある。令和6年度より前期、後期とタームを分けた募集ではなく、多くの親子が参加できるよう、1回ごとに募集する形へと改善を図っている。

研修については、幼稚園・保育園・認定こども園からのニーズを把握しながら、効果的にかつ、多くの参加を得ながら実施していく必要がある。研修への参加がしやすいよう、オンラインで実施可能な研修についてはオンラインで実施している。

令和6年度は、幼児教育センターでの研修計画を対象者を明確にした上で、体系的に作成したところであるが、次年度に向けて、各施設への巡回訪問等で把握したニーズを基に、研修計画を策定していく必要がある。

啓発事業については、事業団ホームページ等で事業の案内等を行っているところであるが、幼児教育の研究の成果等について、より市内に広めていけるよう、引き続き事業団と協議を行っていく。

今後の方向性

継続実施

理由

国立市が推し進めるソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、その一環として、保育・幼児教育環境を積極的に向上させるべく、必要な調査・研究・実践を熱意をもって行うため、市として、くにたち子どもの夢・未来事業団を設立し、幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」の運営を移管し、矢川プラス内に幼児教育センターを開設した経過がある。

幼児教育センターの設立から1年が経過し、今後も事業団と市が両輪となって幼児教育環境の向上のため、事業を継続、発展させていく必要がある。